



TOHOKU  
UNIVERSITY

平成30年度 大学等向け安全保障貿易管理説明会 中部(名古屋)説明会  
2018年9月4日(火)14:10-14:50 中部経済産業局

# 大学での安全保障輸出管理 —留学生/外国人研究者の受け入れについて—

## 佐々木孝彦

東北大学金属材料研究所 副所長  
総長特別補佐(研究倫理担当)



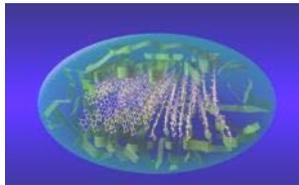
協力講座: 理学研究科物理学専攻

数物系科学-物理学-物性II

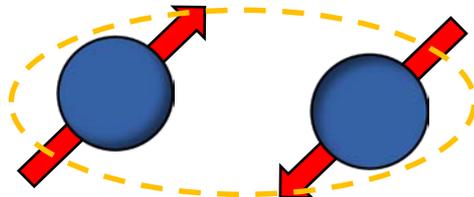
大区分B-物性物理学一磁性, 超伝導, 強相関

## 低温物性物理学

分子性物質・  
有機物質・材料



超伝導・  
強相関電子



研究室



中国からの私費留学生

ポーランド, インドネシアからの  
国費(大学推薦)留学生

第2項 原子力 重水素化合物  
ヘリウム3

ソレノイド型超伝導磁石

第7項 エレクトロニクス  
サンプリングオシロスコープ  
ネットワークアナライザー  
アナログデジタル変換器

第10項 センサー

# 大学・研究機関での 安全保障輸出

## 研究不正への対応（新ガイドライン）

研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン  
平成26年8月26日 文部科学大臣決定



## “責任ある研究活動”

研究不正行為（捏造・改ざん・盗用）の防止

生命倫理

利益相反

法令遵守

安全保障輸出管理



大学におけるリスクマネジメントの一環として実施

## 公正な研究活動の推進

### 5. 安全保障への配慮

太郎は、申請書の研究計画を書く際、アメリカの共同研究者の下にいる定期間、研究室に受け入れたらどうだろうかと考え、教授に相談したところ、身国は、確か、懸念国だったんじゃないかな。彼を受け入れられるかどうかどう出管理マネジメント室に確かめてみて」と指示を受けました。太郎にとって理といった概念は見当もつかず、担当者に相談しました。

#### 5.1 機微技術などの安全保障輸出管理



## NEWS IN FOCUS

**GENETICS** Interest grows in tiny, cheap DNA sequencer p.15

**CLIMATE** Economists offer alternatives to fossil-fuel divestment p.16

**COSMOLOGY** Galactic signal helps LHC in hunt for dark matter p.17

**CAREERS** The many forms of modern retirement from science p.20



Japan's biggest warship since the Second World War was delivered to the navy at the United Marine shipyard in Yokohama in March.

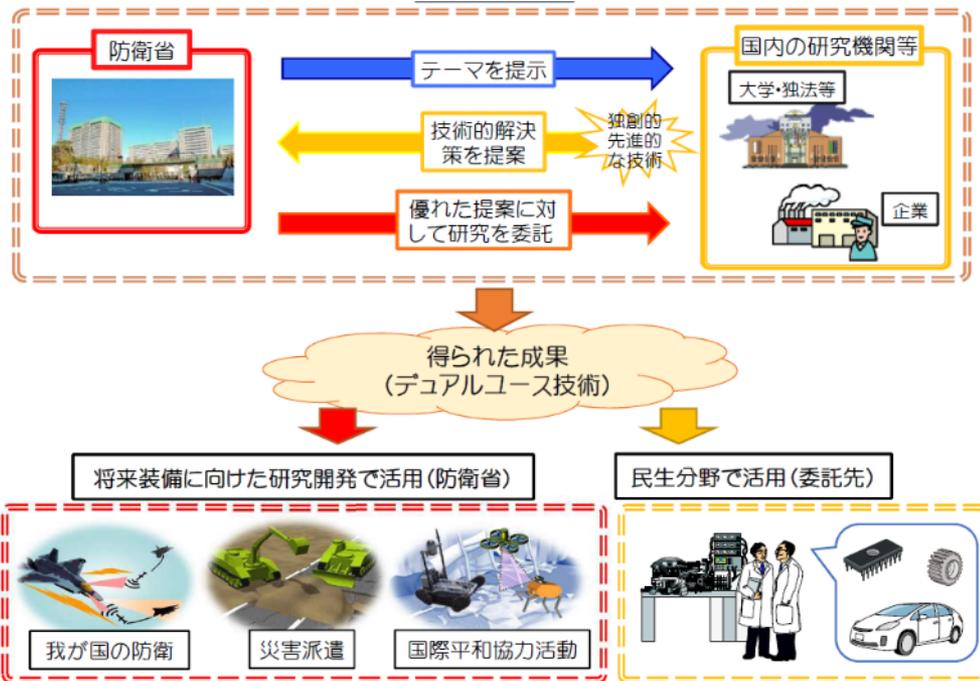
DUAL-USE TECHNOLOGY

### Japanese academics fear military incursion

Relationship between traditionally pacifist research community and military is changing.

## 防衛装備庁(競争的研究資金)

### 安全保障技術研究推進制度



## デュアルユースの意味合いの変化

研究・教育のグローバル化  
留学生・外国人教員・研究員

現実の課題・研究管理

“軍の接近を懸念する日本の研究者たち”  
日本の防衛省が、大学や研究機関などの基礎研究に対する研究資金制度を初めて設けた。

David Cyanoski, Nature **521**, 13 (2015)  
(May 7, 2015)

- 在日科学者組織には**大学院生**も多く、組織的に日本のハイテク技術情報収集の場となっているとの報告（(財)安全保障貿易情報センター(CISTEC)の報告）
- C国は、我が国において先端技術保有企業、**大学・研究機関等に研究者、技術者、留学生等を派遣**するなどして、巧妙かつ多様な手段で各種情報収集を行っている指摘（『警察白書(平成27年版・26年版)』より）
- 国際**共同研究の申込み**のあったC国企業について調査したところ、同企業の取引の80%をC国海軍が占めていたとの報告（日本学術会議「安全保障と学術に関する検討委員会」議事録より）

留学生・外国人研究者の受け入れ



国内での技術取引(役務取引)

無形技術移転

Intangible Technology Transfer (ITT)

- 平成17年 4月 「大学等における輸出管理の強化について」【経済産業省】
- 平成18年 3月 「大学等における輸出管理の強化について」【経済産業省】  
「大学及び公的研究機関における輸出管理体制の強化について」【文部科学省】
- 平成20年 1月 安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス【経済産業省】
- 〃 3月 「外為法等への対応方法」の公表(東北大学産学官連携推進本部)  
※文部科学省大学知的財産本部整備事業「21世紀型産学官連携手法の構築に係るモデルプログラム」

平成21年 7月 **イラン人留学生受入れに関する外為法違反への疑いに関し読売新聞報道  
“核疑惑機関から留学生?! 東北大イラン人に処理法指導”**

- 〃 8月 **「安全保障輸出管理体制」検討タスク・フォース(TF)委員会設置  
⇒ 管理体制及び規程の検討開始**
- 〃 9月 暫定の相談窓口(産学連携課内)の設置  
機微技術等の保有状況に係る暫定調査の実施
- 〃 11月 産学連携課内に**「安全保障輸出管理室」(室長1, 室員2)を設置**  
「大学及び公的研究機関における輸出管理について」【文部科学省】
- 平成22年 1月 TF委員会の検討結果の報告  
**管理体制及び安全保障輸出管理規程の承認(役員会)**  
関係各課に対する協力要請
- 〃 2月 学内説明会(教員向け, 事務担当者向け)
- 〃 2月 **安全保障輸出管理細則の制定**(統括責任者)

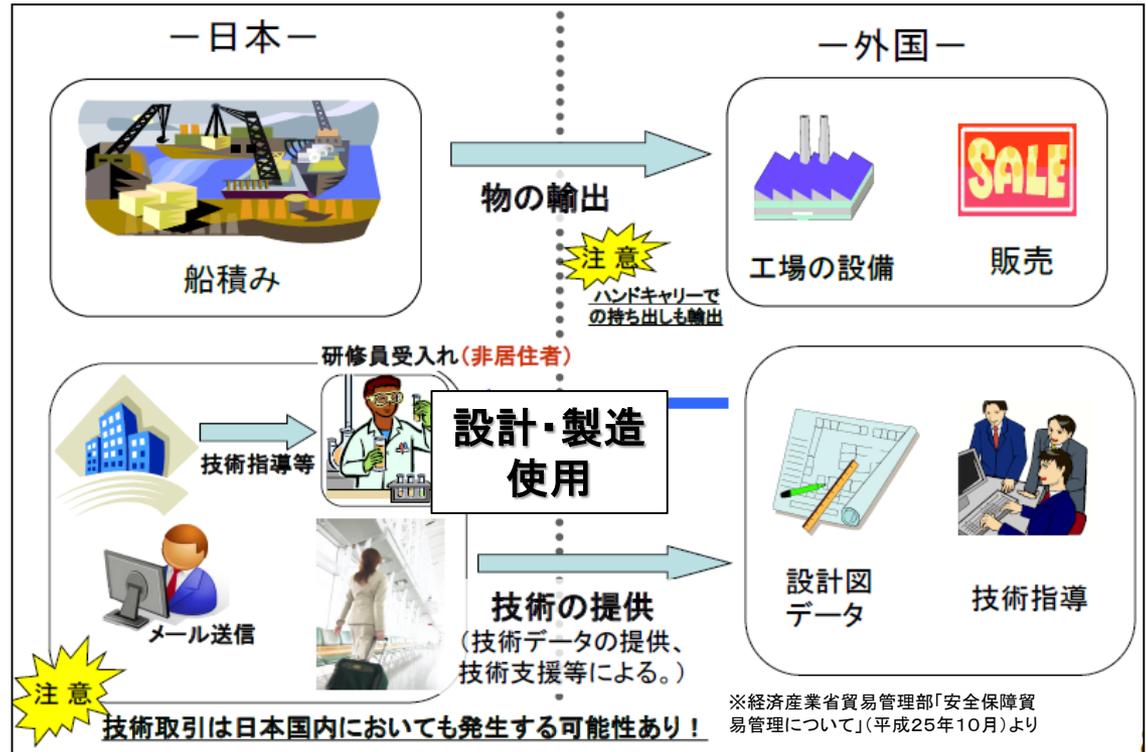


平成22年 3月 **安全保障輸出管理体制スタート**(規程・細則の施行)

# 留学生/外国人研究者の 受け入れに関する 取り組み

特定の貨物を外国に輸出し、又は  
 特定の技術を外国若しくは非居住者に提供するに  
 当たり、一定の要件に該当する場合には、  
**事前**に経済産業大臣の許可を必要とする

企業や貿易会社、メーカーの製品開発に関する問題のように考えがちですが、大学においても様々な場面で輸出等が発生します



**居住性の判定や例外規定の適用誤り等による法令違反を防止するために、教員個人任せではなく、東北大学として組織的・客観的に確認を行う。**

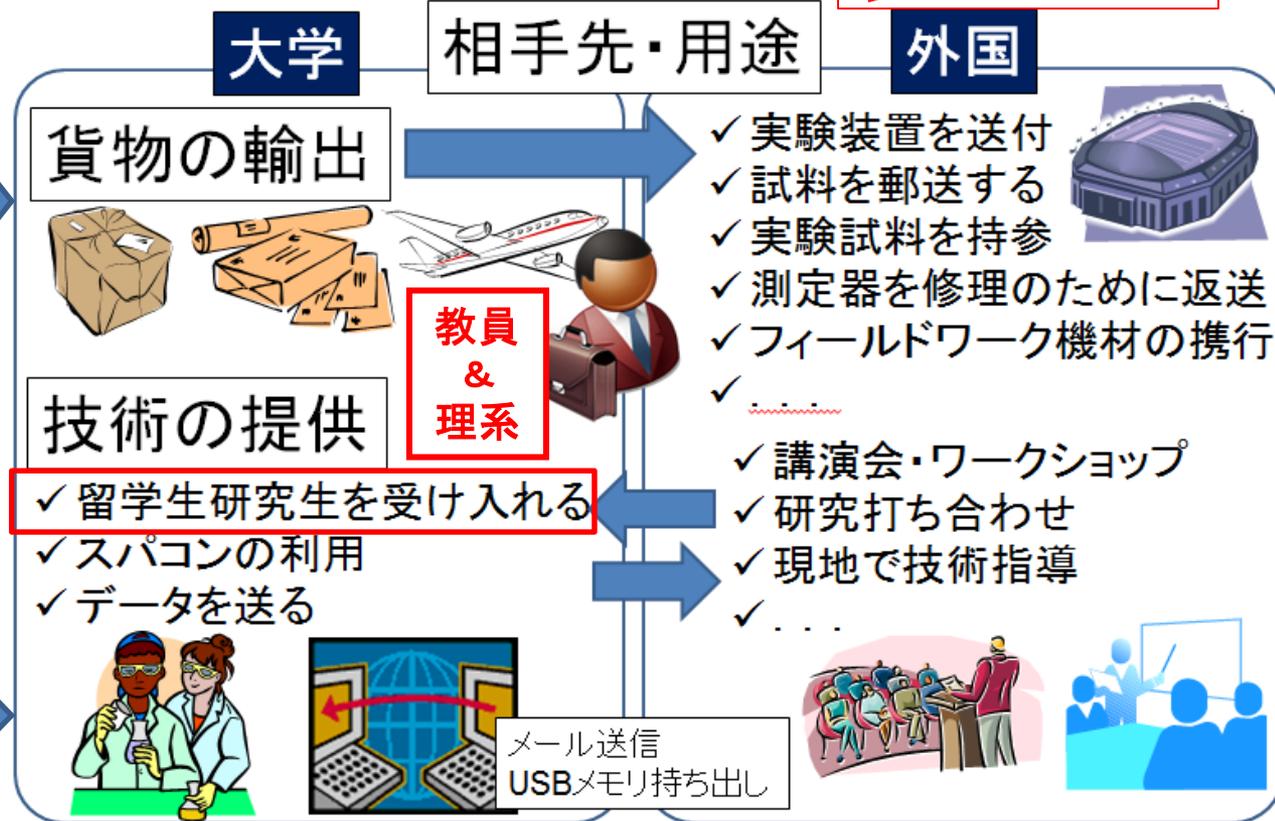
~~管理制限~~

**学内手続により許可要否を組織として事前に確認**

不要

必要

**許可申請  
許可取得**



## 何が対象か？

### ■ 貨物の輸出

- 試料を持っていく
- 装置を送る
- ...



### ■ 技術の提供

- 技術指導する
- 留学生を受け入れ
- データを送る
- ...

## 何を判断すればよいか？

### □ リスト規制

貨物や技術で判断



### □ キャッチオール規制

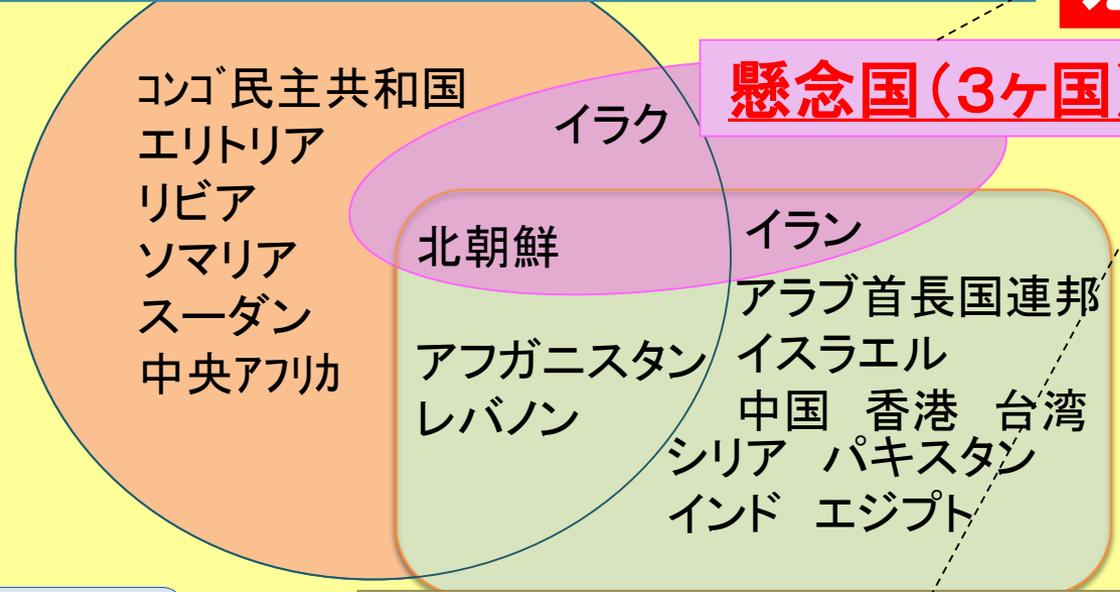
相手先や使われ方で判断



# ホワイト国・非ホワイト国・懸念先

## 懸念先

### 国連武器禁輸国・地域 (10ヶ国・地域)



軍事・国防  
関連機関

・その他懸念  
情報のある相  
手先  
・経済産業省  
から通知(イン  
フォーム)を受  
けた相手先

ロシア  
※要注意先

### 外国ユーザーリスト掲載機関 (529機関)の所在国・地域 (13ヶ国・地域)

アルゼンチン	デンマーク	オーストリア	ベルギー	カナダ	チェコ
オーストラリア	フィンランド	フランス	ドイツ	ギリシャ	ハンガリー
ニュージーランド	アイルランド	ポルトガル	イギリス	韓国	オランダ
ルクセンブルク	ノルウェー	アメリカ	スペイン	イタリア	スイス
スウェーデン	ポーランド	ブルガリア			

非ホワイト国 (ホワイト国を除く国)

ホワイト国

27ヶ国

リスト規制の対象国・地域

キャッチオール規制の対象国・地域

# 外国ユーザーリスト(2018.5.2改訂)

- 経済産業省が、大量破壊兵器の開発等への関与が懸念される企業・組織を掲載し公表しているリスト
- このリストに掲載されている企業等に輸出等を行う場合には、それが大量破壊兵器の開発等に用いられないことが**明らかな場合を除き、経済産業大臣の許可が必要**となります

**大学間・部局間協定を締結している大学も掲載**されています(東北大学)

2018年5月2日改定版 (全529機関)

- イラン 224機関
- 北朝鮮 143機関
- シリア 20機関
- 中国 65機関
- パキスタン 54機関
- インド 4機関

○大学関連

イラン

- Shiraz University (シラズ大学)
- University of Tehran (テヘラン大学)

中国

- 北京航空航天大学
- 哈爾濱工業大学
- 国防科学技術大学
- 西北工業大学
- 電子科技大学

※外国ユーザーリストは不定期に改訂されます

# リスト規制

- リスト規制は、貨物や技術の仕様(スペック)が、法令で規制されているものか否かを判断(該非判定)します
- 規制項番は、武器、原子力等分野別に1項から15項に分類されており、各項番によって規制される品目が示されています

項番		輸出規制品目例
1	武器	軍用航空機、軍用人工衛星、軍用細菌製剤・化学製剤等
2	原子力	重水素・重水素化合物、ロボット等、アルミニウム合金、真空ポンプ等
3	化学兵器	軍用化学製剤の原料、化学製剤用製造機械装置等
3の2	生物兵器	軍用細菌製剤の原料、細菌製剤用製造装置等
4	ミサイル	無人航空機、ロケット誘導装置、推進薬原料、サーボ弁、ガスタービン等
5	先端材料	チタン・ニッケルなど合金粉、金属製磁性材料、セラミック複合材料等
6	材料加工	ロボット、軸受、数値制御工作機械、コーティング装置等
7	エレクトロニクス	サンプリングオシロスコープ、ネットワークアナライザー、半導体基板、集積回路等
8	電子計算機	電子計算機
9	通信	伝送通信装置、通信用光ファイバー、暗号装置等
10	センサー等	光検出器・冷却器、高速度撮影可能なカメラ、レーザー発振器、レーダー等
11	航法装置	衛星航法システム 電波受信機、ジャイロスコープ
12	海洋関連	水中ロボット、潜水艇、水中回収装置、浮力材
13	推進装置	人工衛星・宇宙開発用飛しょう体、無人航空機、ガスタービンエンジン等
14	その他	粉末状の金属燃料、催涙剤・くしゃみ剤等
15	機微品目	宇宙用光検出器、潜水艇、デジタル伝送通信装置等

# キャッチオール規制と懸念40品目

- キャッチオール規制は、食料品や木材を除く全てを対象とし、貨物や技術が兵器の開発等の懸念用途に転用される恐れがないかを判断します
- 特に兵器の開発等に用いられる恐れ**の強いものを懸念40品目**として指定

## 核・ミサイルへの転用懸念

- ・リン酸トリブチル(TBP)
- ・周波数変換器
- ・質量分析計又はイオン源
- ・電圧又は電流の変動が少ない直流の電源装置
- ・大型の真空ポンプ
- ・耐放射線ロボット
- ・放射線測定器
- ・Φ75mm以上のアルミニウム管
- ・高周波用のオシロスコープ及び波形記憶装置
- ・大型発電機

核兵器への転用懸念

- ・炭素繊維・ガラス繊維・アラミド繊維
- ・チタン合金
- ・マルエージング鋼
- ・しごきスピニング加工機
- ・数値制御工作機械
- ・アイソスタチックプレス
- ・フィラメントワインディング装置
- ・振動試験装置
- ・遠心力釣り合い試験器
- ・耐食性の圧力計・圧力センサー
- ・TIG溶接機、電子ビーム溶接機
- ・人造黒鉛
- ・大型の非破壊検査装置

- ・微粉末を製造できる粉碎器
- ・ジャイロスコープ
- ・ロータリーエンコーダ
- ・大型トラック  
(トラクタ、トレーラー、ダンプを含む)
- ・クレーン車
- ・カールフィッシャー方式の水分測定装置
- ・プリプレグ製造装置
- ・噴霧器を搭載するよう設計された無人航空機(UAV)
- ・UAVに搭載するよう設計された噴霧器

ミサイルへの転用懸念

生物兵器

密閉式乾燥槽

遠心分離機

凍結乾燥機

...

化学兵器

ウォールストリートジャーナル（2017年9月7日）

North Korea's Ph.D. Strategy --- How did  
Pyongyang advance its nuclear weaponry? The  
answer may lie in scientists it sends abroad

Page, Jeremy; Gale, Alastair . Wall Street Journal , Eastern edition; New York, N.Y. [New York, N.Y.]07 Sep  
2017: A.1.

“北朝鮮のPh.D.戦略”

どうやって核兵器開発を進めたのか？

答えは、研究者の海外に送ることにあるのだろう

- 数百人の研究者が海外に留学
- デュアルユース技術の持ち帰り懸念

（物理学，材料科学，工学，電気通信，航空宇宙）

## 大学としての運用ポリシーをはっきりさせる

### ① 主導者

- ・ 役員のリーダーシップ
- ・ 使命感をもってリードする教員(キーパーソン)

### ② 実働者

- ・ 所管部署(留学生, 国際交流, 研究協力, 産学連携, 法務・コンプライアンス)
- ・ 専任者(学内・民間人材・特任教員の登用)

### ③ 管理対象範囲(どこまでやるか)

- ・ 法令対応 ⇔ 負担増に係る学内の対応
- ・ リスク管理 趣旨・目的, 費用対効果の説明が不可欠

## 技術取引(役務取引) = 「みなし輸出」

非居住者に技術取引が発生する時点を輸出が行われたとみなす



研究・教育活動を「みなし輸出」対象とする難しさ

□ 提供技術・教育研究内容の将来予測

✓ 多種・多様      規格化・具体化されていない

✓ 日々常に変化・進展

✓ 居住性判断

リスト規制と相性が悪い

□ 提供技術の確認

□ 輸出貨物の確認

□ 相手先の確認

入学前

研究実施時

修了・帰国時

入口管理

中間管理

出口管理

◎判定手続  
リスト規制、例外規定  
等の確認

◎再判定手続  
変更内容の再確認

◎終了前確認手続  
持ち帰る試料、データ  
等の内容確認

【受入時】誓約書の取得

進学・身分変更

【終了時】事務からリマインダー

受入前

受入中

受入終了時

- ・ 予定発生(チェックフロー図の確認)
- ・ 研究指導(技術提供)の確定
- ・ 輸出管理シートの作成・提出

- ・ 研究の進展・進捗による研究指導(技術提供)の追加・変更
- ・ 受入期間、身分の変更

- ・ 進路先等及び技術の再提供の確認
- ・ 貨物の持ち帰り
- チェックフロー図の確認、終了前確認シートの作成・提出

大学における管理

受入教員の手続き

## ● 輸出管理シートの作成

記入内容

提供技術の内容

相手先の情報(CV)

目的・用途

別記様式第2号(第5条関係) 輸出管理シート  
 記入年月日: 平成 24 年 4 月 1 日

大学(大学院)合格の前に実施することが望まれる  
 - 希望する研究課題に対して審査 - 研究内容の変更が必要な場合あり



**受け入れ予定期間**

## ● 判定手続

確認内容

リスト規制

キャッチオール規制

例外規定・特例等の確認

懸念性の度合いに応じて審査項目を段階的に増やし慎重な審査を実施

**濃淡管理**

適用の可否不明  貨物の例外規定  
 貨物の非該当証明書  少額特例  無償特例  既許特例

取引審査の手続により、あらかじめ女生体庫輸出管理上の懸念の有無について確認を行うこと。

下に記載。【部局整理№】  
 月 日

懸念先、外国ユーザーリスト掲載機関等連絡するよう、申請教員にお伝えください

【及び取引審査の判定】

認する  
 の許可申請

統括責任者	全学管理責任者	輸出管理責任者	担当者	承認者
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
(印)	(印)	(印)	(印)	(印)

# 偽造卒業証書, 成績証明書 “fake diploma” 22/32



## THE MUSEUM OF DIPLOMAS AND CERTIFICATES

you will find our first diploma and certificate museum, which we will update periodically. I believe this is the first online diploma museum available! The purpose of this small museum is to show you various diplomas/certificates in different styles and layouts over a period from 1900s to the present.

Our oldest reproduction document we have worked with dates back to 1901, and the style is quite different from what you see today.

### DIPLAOMATIQUE LEVEL: PRE-1900S – 1980S

Before digital printing became a thing, creating a perfect diploma template was a thing of beauty. Old methods had to be used to make sure everything looked professional and consistent across the board. These are *true* diplomas – the ones you see in museums and the like.

If you're ordering a diploma in this time period, the template will usually have basic design with old-fashioned lettering and printing methods. We have a large selection of templates from this time period to choose from if you're older and you need a degree that corresponds when you were younger and going to school.

One thing to note is that diplomas from this time period will usually have signs of wear – as the paper wasn't made to withstand the test of time, you will see yellowing of the paper and fraying around the edges. Since your brand-new diploma won't have these natural signs of age, we recommend

**DC DIPLOMA company**  
866-687-5403  
Monday thru Friday  
9AM to 6PM EDT

**Buy Documents**

**Fake Diploma Japan**

**USD \$199.00**

**Write in Japan College or University \***

**Student Name \***

**Write in your degree and major**

**~200 USD**

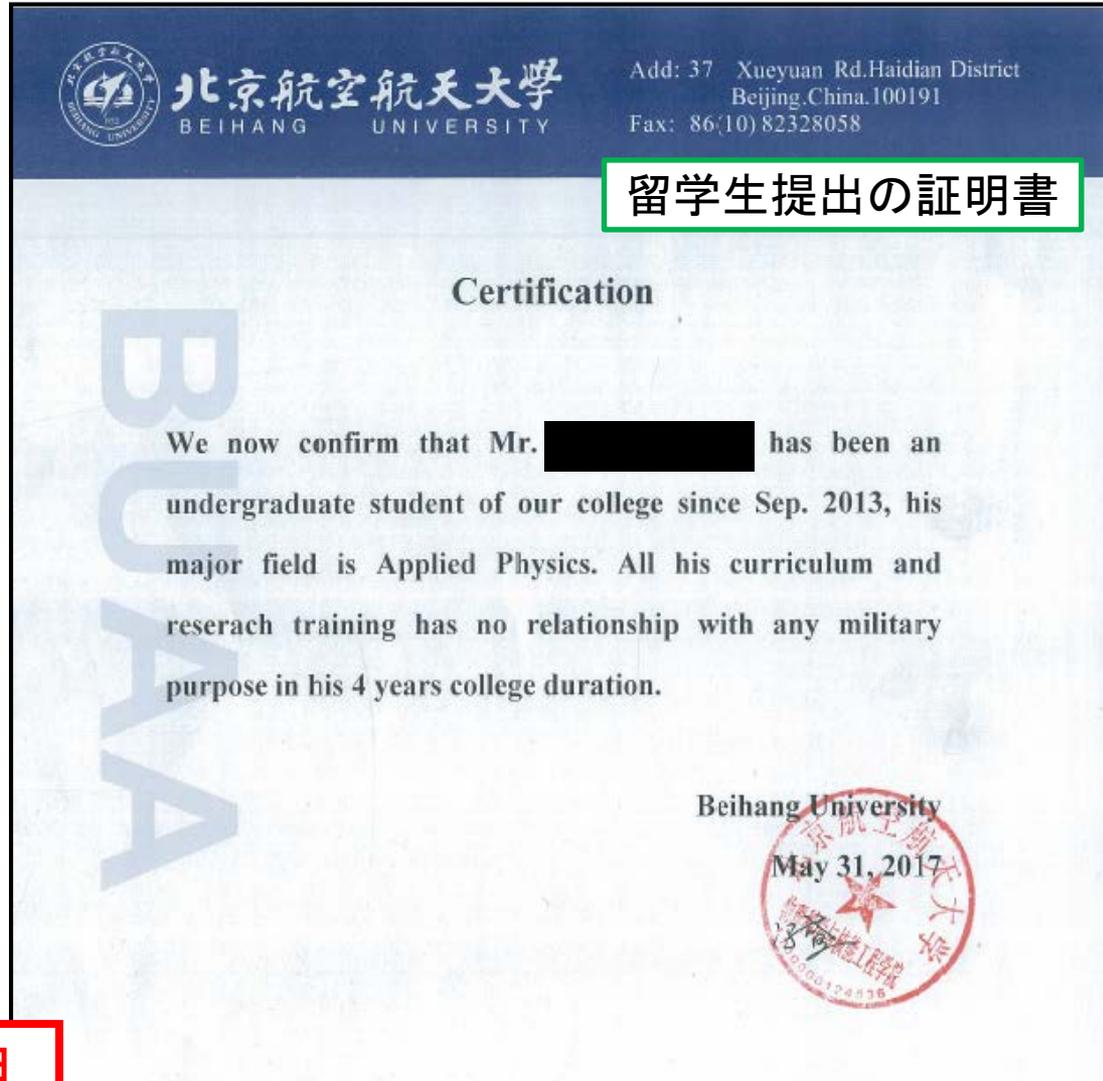
## ◆懸念先からの受入手続きにおいて確認された情報等

### ● その1

ユーザーリスト掲載機関  
所属の学生について、在  
学期間中のカリキュラム  
の内容が軍事目的ではな  
いことの証明書が発行さ  
れたケース

本証明のみをもって、相  
手先に懸念がないと言  
い切れませんが、判断材  
料の一つ

他の懸念先の動向にも注目



## ◆懸念先からの受入手続きにおいて確認された情報等

### ● その2

ユーザーリスト掲載機関である北京航空航天大学(ミサイル懸念)については、China Airborne Missile Academyでインターンシップを行うことが課程で定められていたり、必修科目にミサイル関連の科目が組み込まれている情報あり

留学生本人の志望  
動機や提供技術が  
軍事転用する恐れが  
ないか等、受入れ時  
の確認が重要です

※受入れそのものを拒否するものではありません

### 【Practical Experience】

### 留学生提出CV抜粋

◆2015.7.12~2015.7.21      China Airborne Missile Academy      Principal of the class

**Department:** Missile Research and Production

**Content:** organized the class to visit the Department of missile research to observe the simulation test of missile launching and to understand the making process of missile components.

**Achievement:** improved the ability of staffing and got a basic understanding of missile during the visit.

平成25年度（第二次）東北大学大学院〇〇研究科  
 修士課程・博士課程（前期2年の課程）/ 研究生入学願書【参考例】

平成25年5月

大学院生及び研究生受入れ担当係の皆様へ

## 手続状況を確認するためのチェック欄...

教育・学生支援部入試課  
 法務・コンプライアンス部コンプライ  
 推進課安全保障輸出管理室

入学願書における安全保障輸出管理項目の追記等について（通知）

このたび、平成25年5月1日より、教員等の手続遺漏による外為法違反リスクを  
 させるため、大学院及び研究生入学願書（以下、「入学願書」といいます）に記載す  
 目として、安全保障輸出管理（以下、「輸出管理」といいます）に関するチェック欄  
 し、入学願書を受理した際には、輸出管理に関する手続の実施状況についても併せ

						※受験番号		
氏名	カナ					写真		
	漢字							
	生年月日	西暦	年	月	日	年齢	歳	男・女
本籍地 (日本人志願者)	都・道 府・県	国籍 (外国人志願者)	国	在留資格 (外国人志願者)				
<h3>大学院入試願書, 推薦書</h3> <p>(記入しないでください)</p>								
東北大学大学院〇〇研究科長 殿						平成25年 月 日		
受入れ予定教員(所属・氏名)								
<h2>推 薦 書</h2>								
<p>志願者が外国人の場合、受入れを予定している指導教員が記入してください。</p> <p style="text-align: center;">【安全保障輸出管理に関する確認】</p> <p>志願者が外国人であるため、「基本フロー図」及び「留学生・外国人研究者受入れチェックフロー図」(甲)に基づき、以下のとおり確認を行いました。 受入れ予定教員(所属・氏名)</p> <p><input type="checkbox"/>承認済(既に「輸出管理シート」により判定手続を完了し、承認を得ている。)【承認日: 月 日 承認部局: 】</p> <p><input type="checkbox"/>手続不要(「基本フロー図」及び「留学生・外国人研究者受入れチェックフロー図」により、判定手続が不要であることを確認した。)</p> <p><input type="checkbox"/>現時点では手続が完了していないが、試験日までには完了する見込みである。</p> <p>(※:「東北大学における安全保障輸出管理」HP <a href="http://www.rrip.tohoku.ac.jp/gakuranni/unzon/gakunai_kokosauehi.html">http://www.rrip.tohoku.ac.jp/gakuranni/unzon/gakunai_kokosauehi.html</a>)</p>								

## 兼業依頼状

<p>【本学の安全保障輸出管理について】安全保障輸出管理に関する手続の実施状況を下記のいずれかにチェック及び記入して下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 承認者承認済(「輸出管理シート」の承認の日付( 月 日)) <input type="checkbox"/> 「輸出管理シート」の提出要件に該当しない</p>	
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>※安全保障輸出管理 (外国人志願者)</p> <p><input type="checkbox"/>承認済み(承認日: 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/>手続不要</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>(確認事務担当者氏名: )</p>	<p>※願書等受付印</p>	<p>※検定料領収印</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------	----------------

## ➤ 取得対象者

- ①留学生(正規・非正規)
- ②外国人研究者(雇用・非雇用)

## ➤ 誓約内容

指導(受入)教員との相談のうえ、必要に応じて

**外為法等に従い所定の手続を行う**

- ✓ 研究上の技術情報を在学(在職)中又は修了(退職)後に外国において提供し、若しくは非居住者に対して提供しようとする場合

**研究で知り得た技術の国外持ち出し**

- ✓ 研究上の使用機器若しくは使用材料若しくは研究の結果得られた有体物を、在学(在職)中又は修了(退職)後に外国に輸出しようとする場合

**研究の結果得られた貨物の輸出**



◆ 受入れ時に承認された場合でも  
修士課程 > 博士課程 > PDなどで 研究テーマ・  
提供技術が変わる場合 は再確認・再判定を実施

- 提供技術の内容に **追加・変更が生じた場合**
- 受入れた留学生・外国人研究者の所属大学・研究機関又は学位取得大学が **新たに外国ユーザーリストに掲載された場合**，国籍のある国が **新たに懸念国や国連武器禁輸国に指定された場合**

**再確認・再判定手続**

## 「出口管理」=「みなし輸出」の確認

留学生/外国人研究者等が、受入期間を終了した後、  
帰国等に伴い、技術の再提供・貨物輸出を想定し、  
終了前に行う輸出管理

「終了前確認」として手続きを実施

### 出口管理は「入口管理」「中間管理」を補完するもの

- ・入口管理の時点で確認した経歴等と進路先は、必ずしも同一であるとは限らない→**進路先の懸念**を確認
- ・**提供技術の追加変更**等について漏れはないかを確認→再判定手続(中間管理)の遺漏を確認
- ・入口管理では提供技術について審査→**貨物の持出しの有無**を確認

## ◆まとめ

- 懸念先への技術流出を**予防(牽制)**するための確認
- 入口・中間期からの**継続**した管理が必要
- 教務系事務/部局担当/本部事務の**連携**

## 入口管理あつての出口管理

## ◆課題—大学でできること—

- ✓ 受入期間終了時に、就職・異動先など進路未定で帰国した場合の対応 **(どこまで確認が必要・可能か?)**
- ✓ 論文等により公知化されなかった研究データ、研究用試料(資料)の持ち帰り等が、輸出管理対象となることへの認識

**(研究データの帰属、国際共同研究への対応)**

2012年

ユーザーリスト掲載機関(核)での国際ワークショップ招待講演

Bhabha Atomic Research Center (India)

( \* 日印原子力協定(2017)後もUL掲載の4機関の一つ)

*“商用原子炉の圧力容器鋼の脆化・劣化を与える  
ナノレベルの欠陥や不純物クラスターの研究”*

事前相談, 事前審査: 輸出管理シートでの手続き

- ✓ 公知の内容
- ✓ リスト規制非該当
- ✓ HPなどで参加者, 公開性の確認

*後日談... 認識していることの重要性*

# 円滑で実効的な輸出管理を大学で行うには

## 教員組織

管理される側

納得・理解できるか

自然科学・基礎科学

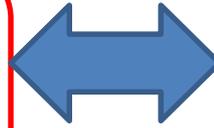
理系 or 文系

## 事務組織

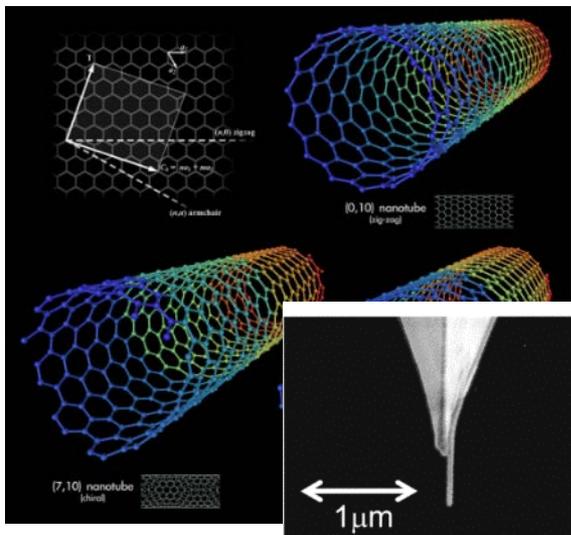
管理する側

法令・規則に適合しているか

法規対応・手続き論



カーボンナノチューブ?



懸念40品目  
炭素繊維材料

通訳となる  
教員

炭素繊維?



企業営利活動とは異なる目線での対応が必要

## 大学・研究機関での運用のためには

学術界の原理

研究第一・門戸開放

Open door policy

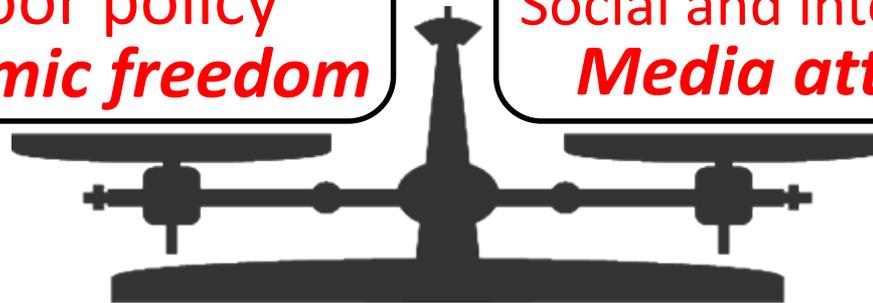
**Academic freedom**

社会的要請

法令に基づいたコンプライアンス遵守

Social and international responsibility

**Media attention**



大学が抱える現実的課題

- **コスト** (human resources, time consuming)
- Limited investigation capability
- Troublesome tasks - *objections from professors* -

✓ 日本の学術研究維持の根本的問題

*Large demand of international students  
for keeping academic activity in Japan*

参考資料

# 東北大学の 安全保障輸出管理体制

# 東北大学の輸出管理体制

経済産業省・東北経済産業局

最高責任者(総長)

統括責任者(理事・副学長)

安全保障輸出管理委員会

委員長(全学管理責任者)

副委員長(2名)

委員(事務職員)

委員(教員)

安全保障輸出管理室

・室長(輸出管理マネージャー)

関係部署の長

輸出管理アドバイザー

・その他委員会が必要と認めた者

申請/許可

懸念性の度合いに応じ、本部委員会と部局の二段階審査体制を構築

報告/判定依頼

《部局》

部局管理責任者

専攻長等

輸出管理アドバイザー

輸出管理担当者

所定の担当係

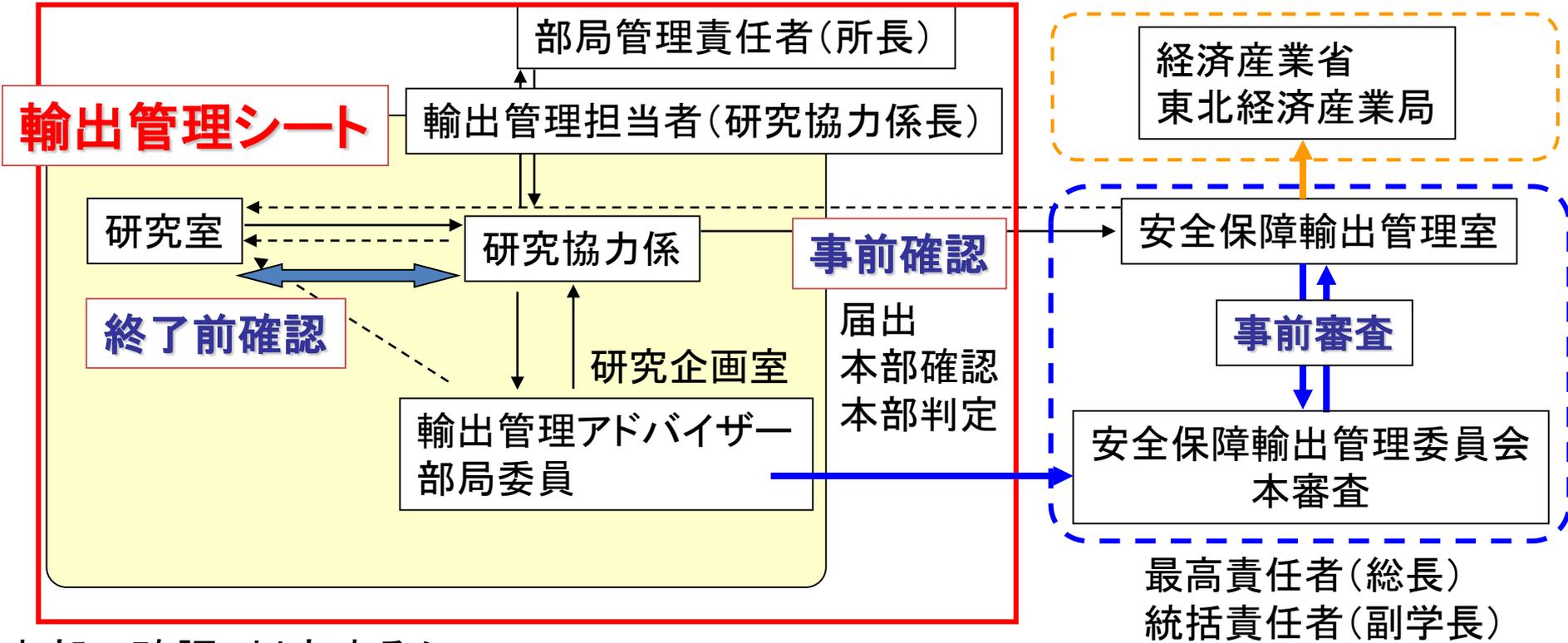
・事前確認、該非判定、取引審査の実施

・上記取引に関する届出について、報告や本部判定の依頼等

輸出管理シートの提出

申請者(教員等)

# 東北大学・各部局の輸出管理手続き(例 金研)



## 本部で確認・判定するケース

- ・懸念される相手機関、相手国
- ・懸念情報がある場合
- ・例外規定に該当しない技術の提供
- ・**貨物の輸出**

## 経産省への許可申請が必要となるケース

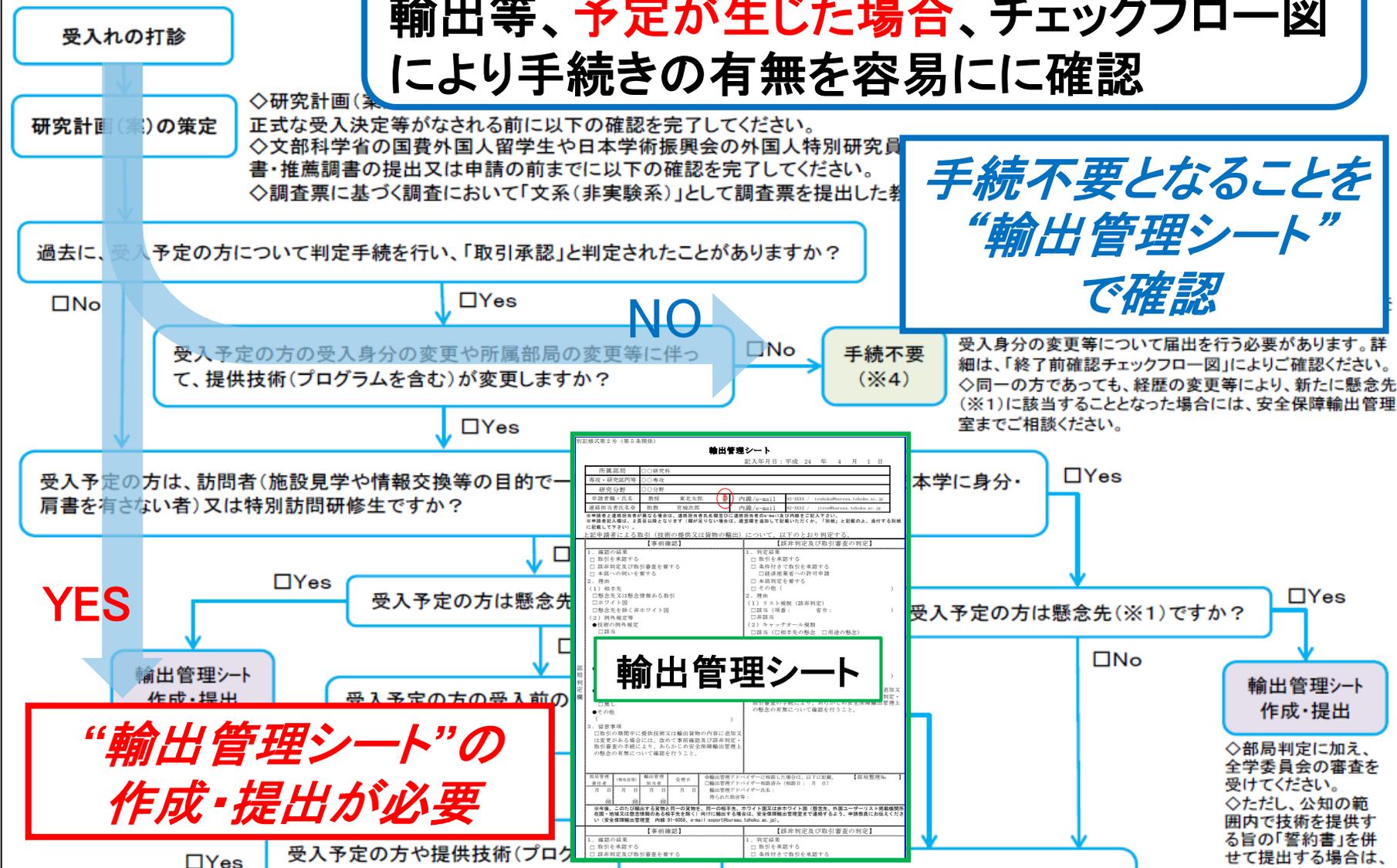
- ・**リスト規制**貨物の輸出、**リスト規制**技術の提供
- ・キャッチオール規制に該当する場合 (相手先・用途に懸念がある場合)

# 最初の一步 - フロー図でのチェック -

ここからStart

留学生・外国人研究者等の受入れ、貨物の輸出等、**予定が生じた場合**、チェックフロー図により手続きの有無を容易に確認

手続不要となることを  
“輸出管理シート”  
で確認



**“輸出管理シート”の作成・提出が必要**



# 輸出管理シート

輸出管理シート

記入年月日：平成28年5月13日

所属部局	〇〇研究科		
専攻・研究部門等	〇〇専攻		
研究分野	〇〇分野		
申請者職・氏名	教授 東北太郎	内線/e-mail	92-XXXX / tohoku@bureau.tohoku.ac.jp
連絡担当者氏名	助教 宮城次郎	内線/e-mail	92-XXXX / jirou@bureau.tohoku.ac.jp

※申請者と連絡担当者が異なる場合は、連絡担当者氏名欄並びに連絡担当者のe-mail及び内線をご記入下さい。  
 ※申請者記入欄は、2頁以降となります（欄が足りない場合は、適宜欄を追加して記載いただくか、「別紙」と記載の上、添付する別紙に記載して下さい）。  
 上記申請者による取引（技術の提供又は貨物の輸出）について、以下のとおり判定する。

【事前確認】	【該非判定及び取引審査の判定】
1. 確認の結果	1. 判定結果
<p><b>取引の種類(輸出、技術提供、受入れ)に関係なく様式は共通</b></p>	

●貨物の非該当証明書	□少額特例 □無償特例 □暗号特例
□有り	□その他 ( )
□無し	
●懸念情報	3. 留意事項
□有り (□相手先 □用途 □インフォーム)	□取引の期間中に提供技術又は輸出貨物の内容に追加又は変更がある場合には、改めて事前確認及び該非判定・取引審査の手続により、あらかじめ安全保障輸出管理上の懸念の有無について確認を行うこと。
□無し	
●その他	
( )	
3. 留意事項	
□取引の期間中に提供技術又は輸出貨物の内容に追加又は変更がある場合には、改めて事前確認及び該非判定・取引審査の手続により、あらかじめ安全保障輸出管理上の懸念の有無について確認を行うこと。	

部局管理責任者 (専攻長等)	輸出管理担当者	受理日	※輸出管理アドバイザーに相談した場合は、以下に記載。【部局整理No.】
月 日	月 日	月 日	□輸出管理アドバイザー相談済み (相談日： 月 日)
			輸出管理アドバイザー氏名： 得られた助言等：

## 申請教員の所属部局で一次判定を実施

1. 確認の結果	1. 判定結果
□取引を承認する	□取引を承認する
□該非判定及び取引審査を要する	□条件付きで取引を承認する
□取引を承認しない	□経済産業省への許可申請
	□その他 ( )
2. 理由	□取引を承認しない
□別紙回答記載のとおり	2. 理由
	□別紙回答記載のとおり

統括責任者	全学管理責任者	輸出管理マネージャー	担当者	受理日	(特記事項等)
-------	---------	------------	-----	-----	---------

1. 取引の内容 【事前確認】

■貨物の輸出 (積み戻しの予定: 有 無) **必ず事前に!**

取引日	(輸出日)平成 26 年 6 月 15 日
輸出貨物の名称	E2F-1ロックアウトマウス (遺伝子組換えアデノウイルスの感染を受けたマウス)
目的・用途等	今後の有償ライセンスに向け、アメリカのXX Co. LtdとMTA契約を締結した上、試料を提供する。本試料は、遺伝子組み換えアデノウイルスの感染を受けたマウスであり、欠損したE2F-1をふたたび発現する。拡散供与体はヒトであり、宿主等にも病原性及び有害性(有害物質の産生)はない。輸出先において、病原性E2F-1ロックアウトマウスに自然発症した腫瘍に対するE2F-1の治療効果と生体内(in vivo)で確認する。

□技術の提供 (渡航の予定: 有 無)

取引期間	(始期) 平成 年 月 日 (終期) 平成 年 月 日
提供技術の目的・用途	取引に至った経緯や理由、試料や技術の目的・用途等を記載

□受入

取引期間	
提供技術の名称	
研究の方法等	

2. 取引の相手先 【事前】

■機関

名称	XX Co. Ltd
所在地	〇〇 Main Street, 〇〇Cambs. 〇〇. USA
	□ 外国ユーザーリスト □ 懸念区分 □ 核 □ ミサイル □ 生物兵器 □ 化学兵器
	□ 日本 □ ホワイト国 (アメリカ合衆国)
	□ 懸念国 ( ) □ 国連武器禁輸国・地域 ( )
	□ 外国ユーザーリスト掲載機関の所在国・地域 ( )
	□ その他の非ホワイト国 ( )

□個人(受入人物等)

氏名	(学籍番号: )	国籍	
永住権等	<input type="checkbox"/> 有 ( )	※永住権を有する国名や在留資格等を記載	<input type="checkbox"/> 無
受入部局		雇用関係	<input type="checkbox"/> 有 (締結予定も含む) <input type="checkbox"/> 無

【学生】

【研究者】

受入身分又は現在の身分	<input type="checkbox"/> 学部学生 <input type="checkbox"/> 大学院修士課程 <input type="checkbox"/> 大学院博士課程 <input type="checkbox"/> 特別訪問研修生 <input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input type="checkbox"/> 特別研究学生 <input type="checkbox"/> 特別職 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 教授 <input type="checkbox"/> 准教授 <input type="checkbox"/> 助手 <input type="checkbox"/> 客員研究員 <input type="checkbox"/> JSPS外国人特別研究員	<input type="checkbox"/> 講師 <input type="checkbox"/> 助教授 <input type="checkbox"/> 外国人研究員 <input type="checkbox"/> 民間等共同研究員訪問者
所属機関の名称等	□ 外国 ( )		
所属機関の所在地	□ 日本 □ 懸念国 ( ) □ 国連武器禁輸国・地域 ( ) □ 外国ユーザーリスト掲載機関の所在国・地域 ( ) □ その他の非ホワイト国 ( )		

**留学生等に関する情報を略歴書等をもとに記載**

No.名称		懸念区分	□核 □ミサイル □生物兵器 □化学兵器
-------	--	------	----------------------



5 相手先の確認 【事前確認】 【取引審査】 ※相手先が非ホワイト国の場合

1 相手先についての懸念の有無  
 相手先チェックリスト（別紙1）に記載の懸念情報がある。  
 （該当する相手先チェックリストNo： ）  
 相手先チェックリスト（別紙1）に記載の懸念情報はない。

2 おそれがないことが「明らか」か  
 明らかガイドラインチェックリスト（別紙2）に記載の懸念情報がある。  
 （該当する明らかガイドラインチェックリスト技術No： /貨物No： ）  
 明らかガイドラインチェックリスト（別紙2）に記載の懸念情報はない。

相手先が**非ホワイト国**の  
場合に記載

6 用途の確認 【事前確認】 【取引審査】 ※相手先が非ホワイト国の場合

1 用途についての懸念の有無  
 用途チェックリスト（別紙3）に記載の懸念情報がある。  
 （該当する用途チェックリストNo： ）  
 用途チェックリスト（別紙3）に記載の懸念情報はない。

※相手先が懸念先を除く非ホワイト国であって、記5.又は記6.で懸念情報もない場合は、以下記入・提出不要です。

**“キャッチオール規制”**

7. 懸念区分との関連性等の確認【取引審査】 ※相手先が懸念先又は懸念情報がある場合

1 懸念40品目と懸念区分との関連性  
 輸出貨物又は提供技術は、懸念40品目（別紙4）に該当する。  

該当No.	懸念用途	<input type="checkbox"/> 核	<input type="checkbox"/> ミサイル	<input type="checkbox"/> 生物兵器	<input type="checkbox"/> 化学兵器
懸念区分との関連性		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無（理由： ）			

 輸出貨物又は提供技術は、懸念40品目（別紙4）に該当しない。

2 研究目的・目標

3 研究方法  
 研究対象

4 大量破壊兵器等への転用可能性

5 懸念区分との関連性 ※その理由も明記下さい。

6 大量破壊兵器等への転用可能性（リスト規制レベルへの到達可能性） ※その理由も明記下さい。

相手先が**懸念先（懸念国、  
 国連武器禁輸国、外国  
 ユーザーリスト、軍事・国防関  
 連機関）**の場合のみ記載

**懸念性の度合いに応じて審査項目を  
 段階的に増やして慎重な審査を実施！**

# 必要手続き日数

## ◆標準的処理日数

### ➤学内手続

- ✓ 懸念先からの受入・技術提供・輸出 ……1ヶ月半
- ✓ 懸念先以外への貨物の輸出 ……1～2週間
- ✓ 懸念先以外からの受入・技術提供 ……1～2週間
- ✓ スーパーコンピュータの利用 (許可申請の有無確認) ……1週間

※上記は安全保障輸出管理室での処理日数(別途部局内処理日数が加算)

※学内手続の結果、経済産業省への申請が必要と判定された場合は、以下の経済産業省への申請手続に係る処理期間が加算

### ➤経済産業省への申請手続

- ✓ 経済産業省……2～3ヶ月
- ✓ 東北経済産業局……1～2週間

※処理日数は、経済産業省への提出後の日数  
(学内処理日数含まず)

H29年度 総手続件数 1,422件

貨物の輸出 477件

役務提供 945件

✓ 事前審査・委員会審査案件 46件

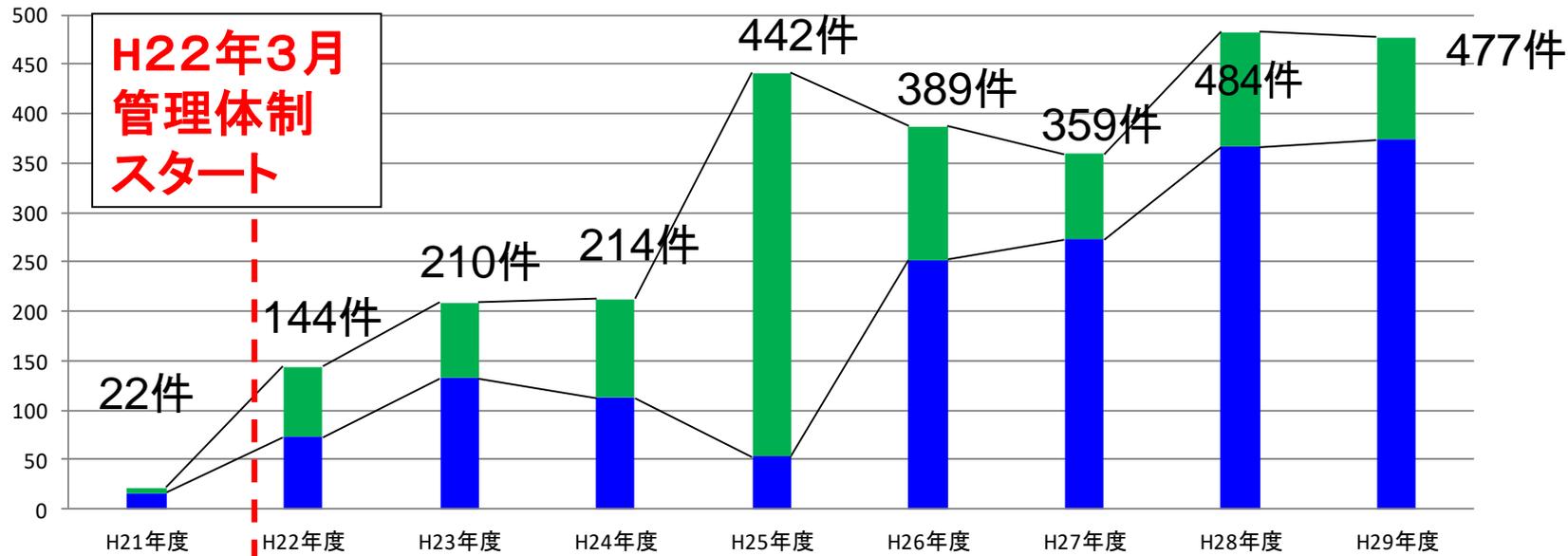
✓ 許可申請案件 7件

✓ ホワイト包括適用案件 9件

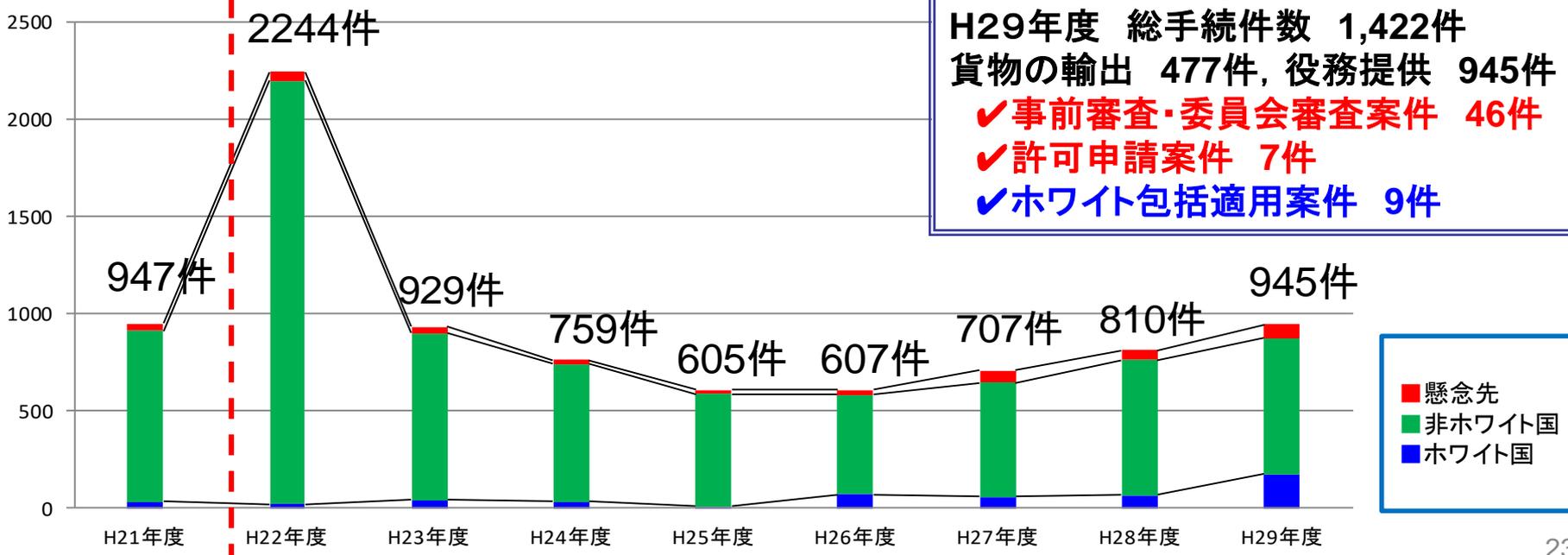
実際にリスト規制に該当する案件

# 判定手続件数の推移(東北大学)

貨物輸出件数の推移



役務取引件数の推移





東北大学

## 東北大学

常勤教職員数 **6,432名** (H29.5.1現在)

学生数(学部, 大学院) 18,019名 内留学生 **1,583名**  
(H29.5.1現在)

総事業費 1,451億円 (H28年度) ※東北大学概要2018より

**各部局輸出管理担当者** (総務系事務職員) **31名** (係長級)

## **安全保障輸出管理室 3名(4名)**

室長・輸出管理マネージャー(兼任課長1名)

室員(係長級1名, 事務一般職員1名, 事務補佐員1名)



## **安全保障輸出管理委員会 39名**

委員長・全学管理責任者(教員1名:材料工学系)

副委員長(教員2名:医学・生命系, 電子情報系)

各部局委員(教員30名)

本部事務系委員(部・課長級6名)



# 東北大学の輸出管理体制の特徴

安全保障貿易管理の専門家はいない

(学外から民間経験者・有識者を招聘していない)

本部事務組織 (定期職員異動あり)

		経験年数(H21~)
総務企画部コンプライアンス推進課	課長(室長兼任 輸出管理マネージャー)	0年(3代)
安全保障輸出管理室	室員(係長級) (前所属:部局総務系)	3年(4代)
	室員(一般職員) (前所属:新規(工系MC))	0年(3代)
	室員(非常勤職員) (前所属:利益相反系)	0年(5代)

➤ 学内手続・組織管理・関係省庁対応

安全保障輸出管理委員会 (委員交代)

委員長・全学管理責任者(教員1名) 工学研究科マテリアル系教授 4年(3代)  
副委員長(教員2名) 医学系研究科教授(1年)・電子情報系教授(0年)  
各部局委員(教員30名)  
本部事務系委員(部・課長級6名)

➤ リスト規制の専門性・教員対応・学内コンセンサス

各部局輸出管理担当者(総務系事務職員)31名(係長級) 3~4年

10年で100名以上の事務職員, 100名近い教員が関与

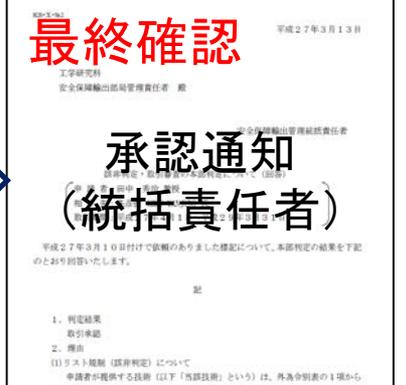
# 濃淡管理

懸念性・リスク	一次審査	二次審査	最終審査
<b>高 High-risk:</b> 転用可能性が相対的に高い重大なケース	部局管理責任者(部局長)	安全保障輸出管理室(事前審査を実施)	安全保障輸出管理委員会, 統括責任者(副学長)
<b>中 Middle-risk:</b> 該非判定等に慎重な判断を要するケース	部局管理責任者(部局長)	安全保障輸出管理室	—
<b>低 Low-risk:</b> 明らかに許可不要な軽微なケース	部局管理責任者(部局長)	—	—

**Important process**

H29年度 総手続件数 1,422件  
 貨物の輸出 477件, 役務提供 945件  
 ✓事前審査・委員会審査案件 46件  
 ✓許可申請案件 7件  
 ✓ホワイト包括適用案件 9件

**対象留学生: 理系(+文系実験系) 大学院生**



# PDCAサイクルによる輸出管理の定着化

## 教育研究活動

留学生  
外国人研究者

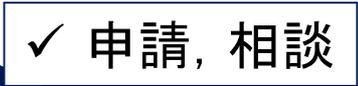


教職員

✓ フォローアップ



✓ 申請, 相談



✓ 学内説明会, 研修会



✓ 事前審査

**安全保障  
輸出管理室**



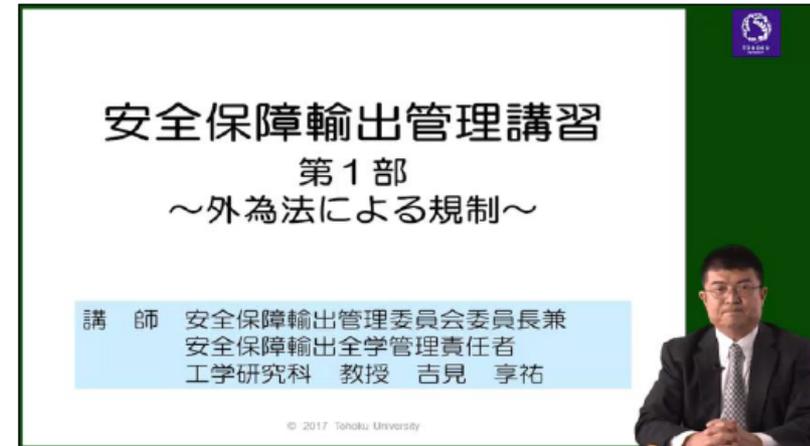
✓ 監査, 活動報告



✓ 安全保障輸出管理委員会

## ➤ 教育・研修の実施

- ✓ 教員向け, 事務向け説明会
- ✓ 新規採用教職員向け説明会
- ✓ 専門研修会(アドバイザー研修会)
- ✓ Eラーニングによる講習の配信



東北大学インターネットスクール  
(ISTU)にて配信

## ➤ 啓発活動の実施

- ✓ 東北大学安全保障輸出管理HP
- ✓ ハンドブック
- ✓ ポスター ,etc.

